

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第6回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日 時	平成21年3月11日(水) 午後3時～午後4時30分	場 所	木津川市役所全員協議会室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委 員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員(副会長・議長)、■大庭哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■永松迪哉委員、■田中英治委員、■森岡宣之委員、■鶴岡由雄委員、 ■長柄光信委員、■中岡武司委員、□大西 清委員</p> <p>【事業者】</p> <p>□竹並秩男委員、■佃 侑彦委員 ※代理：岩崎正義(近鉄日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部計画部)、 ■大久保篤士委員、■津田秀夫委員、 □船橋文人委員、 ■筒井基好委員 ※代理：木戸 昇(城南タクシー株式会社執行役員)、 ■武田忠和委員、■加藤 隆委員、■小森義一委員、 ■佃 寿己委員 ※代理：松石康志(奈良交通労働組合幹事)、 ■木村 保委員</p> <p>【行政機関】</p> <p>■阪部光雄委員 □羽田祐治委員、■中島廣長委員、 ■西村紀寛委員 ※代理：井藤仁志(京都府山城広域振興局企画総務部企画振興副室長)、 ■今西伸之委員 ※代理：岩崎 悟(京都府山城広域振興局建設部山城南土木事務所主任)、 ■梅津康彦委員、 □河井規子委員(会長)、□今井洋一委員、□炭谷育夫委員</p>	
	その他		
事務局	田中市長公室長、大西課長、坂元係長、西村主任 株式会社地域未来研究所 義浦慶子、前田雅人		
傍聴者	1人(うち 報道関係者0人)		
議 題	<p>1. 開 会</p> <p>2. 副会長あいさつ</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①木津川市地域公共交通連携計画の策定及び今後の流れについて</p> <p>○地域公共交通連携計画の策定</p> <p>○木津川市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定の申請について</p> <p>②加茂地域・山城地域での4月以降の運行について</p> <p>○路線・運行ダイヤについて</p> <p>③木津地域の検討状況について</p> <p>④平成21年度予算について</p>		

	<p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①アンケート調査の結果について ②地方の元気再生事業について <ul style="list-style-type: none"> ○恭仁京/10プロジェクトの開催結果について <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次回法定協議会の日程について ②その他 <p>4. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 副会長あいさつ</p> <p>中川副会長より、開会にあたりあいさつがあった。</p> <p>3. 議事</p> <p>議長から運営内規の報告に基づき、会議録の署名委員として、中岡武司委員を指名した。</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①木津川市地域公共交通連携計画の策定及び今後の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通連携計画の策定 ○木津川市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定の申請について <p>「No.3 連携計画・総合事業計画の流れと評価実施の位置づけ」を用いて、連携計画を策定した後の進め方について説明した。そして、「No.1 木津川市地域公共交通総合連携計画（案）」「No.2 パブリックコメント結果」「No.4 総合事業計画認定申請書（案）」の内容について提案し、計画内容について承認いただいた。ただし、パブリックコメントでの「協議会の考え方」における文言の表現について一部修正することとなった。</p> <p>②加茂地域・山城地域での4月以降の運行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路線・運行ダイヤについて <p>「No.5 利用状況について」「No.6 加茂地域・山城地域 路線・運行ダイヤ（案）について」「No.7 加茂地域及び山城地域における実証運行計画（案）」を用いて、4月1日からの加茂地域・山城地域の実証運行の内容について提案し、承認いただいた。</p> <p>③木津地域の検討状況について</p> <p>1日乗車券や運行経費等について、事業者との調整状況・検討経過を含め説明し、平成21年度中の運用統一化の実現を目指し、引き続き調整していくことについて承認いただいた。</p>

	<p>④平成21年度予算について 「No.8 平成21年度木津川市地域公共交通総合連携協議会予算（案）」を用いて、来年度の予算（案）について提案し、承認いただいた。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①アンケート調査の結果について 「No.9 アンケート調査の結果」を用いて、平成21年1月に実施したアンケート調査の集計結果について報告した。</p> <p>②地方の元気再生事業について ○恭仁京/10プロジェクトの開催結果について 「No.10 恭仁京/10プロジェクトの開催結果について」を用いて、平成21年2月に開催した恭仁京/10プロジェクトの内容及びアンケート調査の集計結果について報告した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 日程が決まり次第連絡する旨を説明した。</p> <p>②その他 次年度においても、元気再生事業が継続案件になりうる事業評価がされたことを報告した。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開 会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 副会長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 議 事 (1) 協議事項 ①木津川市地域公共交通連携計画の策定及び今後の流れについて ○地域公共交通連携計画の策定 ○木津川市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定の申請について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.1 木津川市地域公共交通総合連携計画（案） ・No.2 パブリックコメント結果 ・No.3 連携計画・総合事業計画の流れと評価実施の位置づけ

・No.4 総合事業計画認定申請書（案）

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- 「No.4 総合事業計画認定申請書（案）」の各年度事業計画の実行主体が、平成21年と平成22年以降とで記載内容が異なり、「木津川市地域公共交通総合連携計画（案）」では、事業の実施状況に応じて、実施主体も含め見直しをしていくものとするところがあるが、平成21年の事業期間はどのような期間を想定しているのか。
 - ▶ コストを軽減するために、競争原理を働かせたいということから、そのように記載している。
 - ▶ 事業者登録には2か月の審査期間が必要だが、協議会を開催することにより審査期間を短縮することが可能である。認可日を運行開始日として、申請することもできる。

- 競争原理の具体的な方法はどのようなことを考えているのか。
 - ▶ 具体的には加茂地域を想定しており、方法は入札と思っている。

- 入札の参加条件により、労働条件が厳しくなり、安全面が損なわれる可能性があるため、入札を実施する場合は、熟考して欲しい。
 - ▶ 安全面が運行において確保できているかを最終的に判断するのは国土交通省である。
 - ▶ 国土交通省の指針等も参考にしていきたい。

- パブリックコメントにおいて、頂いた要望に対して協議会の考え方が示されているが、決められた形式があるのか。
 - ▶ 市の条例により、計画を実施する前にパブリックコメントを実施することが決まっている。提出された意見に対して、要点のみ回答することとなっている。

- 市民の意見が反映される、されないに関わらず、パブコメを提出して良かったと思えるように文言を修正した方が良いのではないかと。
 - ▶ みんなで良い公共交通をつくりあげていきたいという視点を忘れずに、進めていきたいと思う。

- 住民からの意見等を支所でも受け付けてほしい
 - ▶ パブリックコメントにおいては、支所でも閲覧及び意見提出できるようにしていた。なお、具体的な要望や計画内容については、直接話をさせていただいている。

②加茂地域・山城地域での4月以降の運行について

○路線・運行ダイヤについて

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

- ・No.5 利用状況について
- ・No.6 加茂地域・山城地域 路線・運行ダイヤ（案）について

・No.7 加茂地域及び山城地域における実証運行計画（案）

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- 実証運行はダイヤを変更しないまま運行するのか。
 - ▶ 鉄道のダイヤ改正があるものの、大きく時刻が変更しないため、現状ダイヤで対応可能と考えている。

- ほとんどの路線について、定時定路線継続条件を満たしていない。これらを達成するためには、地域住民の意見を反映することが必要なのではないか。
 - ▶ 一定の基準として、定時定路線継続条件を設けることは必要であり、あとは判断するタイミングが重要であるが、利用促進のためにも、公共交通日よりや工夫したバス停設置等を行ってきている。4月以降も同じ方式で運行するが、経費も見比べながら、予約制といったことも視野に入れ、3年間の実証運行の過程で検討したいと考えている。

- 山城地域のことで、利用者数に応じて、もう少し細かく走ることができる小型車両を導入するとか、乗らない時間等については工夫してはどうか。
 - ▶ 山城地域については、もっと乗ってもらえる可能性があるなので、引き続き取り組んでいきたい。

- 「加茂地域及び山城地域における実証運行計画（案）」の運行事業者の選定理由として、地域事情の経験が充分であり、安全運行が可能とあるが、どの事業者もその条件は満たしているはずである。
 - ▶ 平成21年4月からの実証運行については随意契約としたが、年度途中で入札等、見直しをする予定である。
 - ▶ 安全運行を確保している事業者は公平でなければならない。安全を前提に競争原理を働かせる必要がある。今後、表現方法については修正をしていくべきである。

③木津地域の検討状況について

会議結果要旨のとおり。

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- 奈良交通ときのつバスとで、同区間の運賃を比較したとき、きのつバスが200円になれば、路線バスより高額となるが問題はないのか。
 - ▶ 運賃設定については、最終的には運輸局が判断することとなる。
 - ▶ コミュニティバス運行については、協議会での協議結果であればやむを得ないという理解である。

④平成21年度予算について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No.8 平成21年度木津川市地域公共交通総合連携協議会予算（案）

	<p>(3) 報告事項</p> <p>①アンケート調査の結果について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.9 アンケート調査の結果 <p>②地方の元気再生事業について</p> <p>○恭仁京/10プロジェクトの開催結果について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.10 恭仁京/10プロジェクトの開催結果について <p>(4) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>②その他 会議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
<p>その 他 特記事項</p>	